

阿蘇市議会第6回定例会



13議員が登壇 (一般質問)

阿蘇いこいの村はどうなるのか



谷崎 利浩

吉良経済部長 大変申し訳あります。3月末は1月末の間違でした。
谷崎 会社の経営形態はどうなる。
賃貸契約書15条には、経営形態が変わったときは解除とある。経営権は、アグリスクエアと6次産業化ファンドが出資し、二分の一ずつ議決権をもつた新会社で事業の展開をやっていくとのことです。

まちづくり課長 アグリスクエアと6次産業化ファンドが出資し、二分の一ずつ議決権をもつた新会社で事業の展開をやっていくとのことです。

谷崎 6月議会では、7月に資金調達の目途が立つ。9月議会では、10月には。という説明だったが、目途はたったのか。

佐伯まちづくり課長 金融機関からの決定はまだ下りていません。事業区分の説明ですが、一つが宿泊施設のリニューアル、もう一つが森林空間を活用した6次産業化事業。そのうち後者の方が若干進んでいます。

谷崎 28年8月オーブンはどうなる。
まちづくり課長 6次産業化事業が採択されたら、敷地に関し契約変更、賃料改定、事業計画協議、事業整備、供用開始となります。オープンについては現在未定です。吉良部長の議会での説明と黒川地域の市政報告会での説明が違うが。

谷崎 家賃はどうなったのか。吉良部長の議会での説明と黒川地域の市政報告会での説明が違うが。分納申請が出ていて、27年12月25日が1回目、28年1月末日が2回目、計一千万円です。

他に、「空き家対策について」の質問がありました。

谷崎 西巖殿寺について
日田教育課長 国の重要指定文化財として書籍が2点、県の指定文化財として僧房内に絵画が1点、仏像の彫刻が3体、山上本殿に仏像が4体あります。そして、市の文化財としては彫刻・工芸品・書籍・樹木等が10点で合計20点であります。

養護老人ホームの計画と ガンドームの美術品の取下げについて



河崎 德雄

接地域の要望を各課で対応してほしい、又地元の雇用、食材等で、経済効果を期待するが。

山口課長 地元での説明会や現地立会いを行つて課題を聞いていますので、関係各課で検討します。

河崎 9月議会で可決したガンドーム美術品は真贋を問われ取り下げられ非常に残念であるし、議員として非常に憤慨している。鑑定書はあると答えだし、鑑定書は重要なポイントで判断し賛成した。鑑定書はあるのか。

吉良部長 鑑定書はついておりませんでした。

河崎 住民から色々と聞かれ厳しく批判され報道機関で市民から議会、議員の役割を果たさないと度々批判され残念である。虚偽の報告が原因と思う。どのように責任を感じ、又どのように責任を取るのか。

吉良部長 処分がありましたら受けたいと思っています。

河崎 締め切り後に運営法人は、別の法人と聞いた。選定委員会に提出期限後に平面図等が出され、9月7日作成になっている。その日時の差異を明確に。

山口課長 私もわかりませんが、受け付け後差し替えた事はありません。乙姫地区では、致知会の老人ホーム、介護のみらい、乙姫荘、三法人になる。地元の乙姫地区や隣

河崎 先の豪雨災害で被災した、養護老人ホームが三年を過ぎ再開が計画されているが。分散されている入居者の方々、高齢者に安心を与え、願望が叶い、良かったと思つている。何時何処に、どの様な運営計画か。

山口福祉課長 西原村の福祉法人致知会が運営し、旧乙姫小グランド跡に、28年度施設を建設し29年4月開所の予定です。

河崎 公募のあり方、締め切りは、日締め切りでした。

山口課長 6月23日開始で8月21日締め切りでした。

地方創生の取組について



田中 則次

田中 「地方創生」内容は地方の各自治体が施策を考え国に申請、受理された案件に対し予算の配分がされるとの認識で良いのか。

宮崎財政課長 国の予算1,080億円です。市に於いては16名による委員会を立ち上げ策定を行つていりました。今迄に子育て支援、医療助成を始め、地方創生先行型交付金（プレミアム商品券、ジオパーク、草原保全関係）等々に活用してきました。

田中 補助率は100%なのか。

財政課長 今回の分は補助率50%で一般財源が必要です。市が提案した分で国の了解が得られれば2千万から4千万が交付金で、事業費としては交付金額の倍となります。期限は平成31年迄でその後は未定です。

田中 県との連携について、阿蘇市は県下自治体の中でも観光、農畜産、林業等中心的な自治体である。

県との連携を十分に行い施策の充実を計つてもらいたい。

財政課長 県は元より「広域連携」による、地域連携機能の強化」を設けており積極的に取り組んでいきます。

田中 幅広い分野で発想の転換が求められている。行政としての取組は。

財政課長 中長期的に方向性を各部、課とも民意を集約、見極めながら取り組みます。



総合戦略（計画書表紙）

内牧防犯灯・街路灯取りつけについて



田 中 弘 子

ガンドーラ美術品について

田中 ガンドーラ美術品寄贈が取り下された理由について説明を。

吉良 経済部長

シルクロードの研究者的第一人者であった申出者のお父様が収集されたものであり、阿蘇の地で人々に鑑賞していただきたいと寄贈されました。最終的には11月ですが好意で始めたお話でございましたが、寄贈の話が大きな混乱に波及して行くことは自身の本意ではないとのことで、今回のお話は取り下さると通知をいただきました。ジオパーク、草原特区で阿蘇に注目が高まっています。大学教授の方からもお話をありました。阿蘇の資産的価値は高いと、議員の皆様にもご相談しながら期待に添うよう頑張ってまいります。

佐伯 まちづくり課長 風評被害によって減少傾向にあります。宿泊費の安いホテルでは外国人観光客も増加しています。本来街路灯防犯灯について歩行者の安全確保が大前提です。基本的には商工会、商工振興組合、地域まちづくり諸団体が事業主体になるものです。当然、地元企業が事業主体になる補助メニューもあります。観光面、地域づくりの観点から申しますと、おもてなしの手段とした所も必要であろうと思います。地域の合意形成をした中で検討させていただきたいと思っています。



内牧地区風景

路線バス運行の現状は



園 田 浩 文

つかず、現在の体育館前に移動、あくまでも臨時的な処置です。

園田 将来、内牧支所、病院、スーザーが近くにある火の国会館跡を温泉施設も利用した道の駅風のバース発着場にと思うが。

財政課長 公有地検討会議の中で、火の国会館跡も含めて利用目的を検討してまいります。

園田 包括支援センターの事業内容と介護予防活動は。

介護予防と介護保険料の今後は

園田 包括支援センターの事業内容と介護予防活動は。

藤田 ほけん課長 地域包括支援セ

園田 合併後の利用者の推移は宮崎財政課長 平成18年が32路線で、125,572人平成26年が7路線87,822人です。

園田 阿蘇市路線バス運行等特別対策補助金の算出方法と経常経費は、財政課長 算出方法は阿蘇市管内の運行収入から経費を差し引いた赤字分の補填をする補助金ではなく、県内40の市町村で産交バスは運行していますが、この全ての総延長距離からキロ当たりの経費を算出し阿蘇市管内の路線距離に乘じて、補填する補助金です。経常経費の中には、人件費・バス修繕費・燃料代が含まれています。老朽化によるバスの購入費も含まれますが、合併後のバス購入はありません。

園田 現在の阿蘇市立体育馆前の発着場と待機場所の今後は。

財政課長 従来は旧コアラ跡地前を発着場として使用していましたが、所有者が代わり賃貸料の折り合いが

つき、現在の体育馆前に移動、あくまでも臨時的な処置です。今後も高齢化の進展に伴い、介護保険料、医療費ともに増え続けること予測され、医療と介護の連携を図り、介護予防事業を効果的に推進します。

ガンダーラ美術品寄附の件について



市 原 勝

経済部長 経済部長として責任は重々感じております。

市原 その責任を取って、議会と市民の皆さんにきちんと謝罪をする考えはないか。

経済部長 今回諸般の報告の中でも「大変混乱を招いた」と市長のお話もあつておりますので、それでもだめなんでしょうか。

市原 部長が話をもらって、部長が決定した、市長には話をしただけ、それでも市長は諸般の報告のなかで申し訳なかつたと反省された、担当部として所管として、きちんと謝罪すべきではないか。議会に混乱を招いた、その謝罪を私は求める

経済部長 大変混乱を招いて申し訳ありませんでした。今回の鑑定書の件について、大変ご迷惑をおかけいたしました。

絏済部長 市長は、この最終決定に関与されていないのか。

吉良経済部長 こういう物件を頂くと

市原 市長は、この最終決定に関与されていないのか。

絏済部長 私宛にメールを頂きましたのでそれを受けて、御通知しております。

市原 市長が鑑定書ありきの説明をしたので、本物ならと議会は全会一致で可決した。それが違う。議会はもちろん、市民の皆さんにも誤解を招き混乱させた責任を部長としてもつて欲しいが。



参考(ガンダーラ美術品)

五嶋 毎回、報告の折にパトロールの増員を提案してきたが。

建設課長 現在の3名で足りているかというと、休みなどで2名になる場合もあります。新年度に向けて増員し2班体制でパトロールが強化できないか、現在協議中です。



五 嶋 義 行

五嶋 次に総延長730kmの市道整備状況と特に悪い赤水ゴルフ場線についての考えは。

建設課長 市道730kmのうち改良済みが421kmで改良率57.6%と、まだ4割が改良されています。現在、年間150件を超える区長要望の中で、道路改良についても優先順位を決め整備をしています。

五嶋 道路が原因の事故が毎回議会で取り上げられて、ひとつ間違えれば重大事故になる可能性があるが、今迄の対応と対策は。

阿部建設課長 今年に入りました6月、9月、12月と毎回道路事故の報告をしております。全国的にも道路橋梁等のインフラの老朽化が取り沙汰されており、本市の場合も同様の状況です。そのため、現在3名の非常勤職員を中心に行き交際を強化しています。また、職員も通常の業務の折に道路状況には注意をしていますが、雨天後の道路の欠損や、穴等により不慮の事故が発生しています。

五嶋 滝室坂トンネルについて

建設課長 現在設計に向けての協議を進めており、実際に着工して約10年程かかる予定です。



赤水蛇石神社前

阿蘇市道路行政について